

# ワークシート 「モアイは語る」を読み取ろう

学習日 月 日

二年（ ）組（ ）号（ ）

A

わしの名前はモアイと言う。絶海の孤島、イースター島にいる巨大な石像じゃ。ポリネシア人が人間の守り神として作ったものなのだが、わしらはだんだん作られなくなったのじゃ。それは、人間が増えるに従って、家屋の材料や薪（まき）のために木を伐採し、わしらを運ぶために使われていたヤシの森が減っていったからじゃ。それだけではないぞ。森が消えたことで食料危機に直面した人間たちは、部族の間で争いだし、イースター島の文明は崩壊した。わしらもこうして途絶えてしまったのじゃよ。

## 書き換えのポイント

- ・ 論理の展開に沿って書く。
- （提示・事実・意見）
- ・ 筆者の立場で書く。
- ・ 文末をそろえる。

## モアイは語る（地球の未来）

モアイは、絶海の孤島であるイースター島に海を背にして立っている巨大な石像です。ポリネシア人が自分たちの守り神として作りました。

しかし、このモアイはだんだん作られなくなりしました。その原因は、森林の消滅です。人間が増えたことで森林が伐採され、くことでもありました。また、森が消えたことで、食料危機に直面した人間たちは部族間で争うようになり、イースター島の文明は崩壊し、共にモアイも途絶えてしまいました。

こうした、イースター島の運命は私たちにも無縁のことではありません。今、私たちは異常な人口爆発の中で生きています。地球の人口がそのまま増えていくと、食料不足や資源の不足が恒常化する危険性が大きいのです。広大な宇宙に浮かんでいる地球の森を破壊し尽くした時に待っているのは、イースター島と同じ飢餓地獄なのです。私たちが今ある有限の資源を効率よく、長期にわたって利用する方策を考えることが、人類の生き延びる道なのです。

B

イースター島の運命は、私たちにも無縁のものではありません。今、私たちは異常な人口爆発の中で生きています。地球の人口がそのまま増えていくと、食料不足や資源の不足が恒常化する危険性が大きいのです。広大な宇宙に浮かんでいる地球の森を破壊し尽くした時に待っているのは、イースター島と同じ飢餓地獄なのです。私たちが今ある有限の資源を効率よく、長期にわたって利用する方策を考えることが、人類の生き延びる道なのです。